

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/4現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	のむラップ・ファンド（普通型）・証券投資信託
組成会社（運用会社）	野村アセットマネジメント株式会社
販売委託元	野村アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界各国（日本を含む）の不動産投資信託証券（REIT）を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	この商品は、中長期的な資産の成長を積極的に目指したい方で、同種の商品に対する知識や投資経験があり、もしくは説明を受け商品性をご理解いただける投資家を主に念頭において組成しています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① 積極・普通・安定の3タイプを用意しているのは、どのようなメリットがありますか。
 - ② 積極・普通・安定の3タイプを、事後、変更することはできますか。
 - ③ 組入資産に株式も含まれていますが大丈夫ですか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	<価格変動リスク> 株価は、政治・経済情勢、発行体の業績、市場の需給等を反映して、短期的・長期的に大きく変動する。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。
	<為替変動リスク> 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
	<信用リスク> 債券の発行体が財政難等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことが出来なくなる場合、債券の価格が下落することがあります。
	<流動性リスク> 有価証券を売買する際に、需給状況により希望する時期・価格で売買することができなくなることをいいます。
過去1年間の収益率	10.0%（2023年9月末現在）
過去5年間の収益率☒	平均5.6% 最高24.8%（2021年10月）最低-8.1%（2018年12月） （2018年10月～2023年9月の各月末における直近1年間の数字）

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の6ページから7ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の10ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ④ 普通型は、リスク面でどのような特徴がありますか。
- ⑤ 確定拠出年金 (iDeCo) でも同じような商品をやっていますが、この商品を選択するメリットはどのような点にありますか。

3. 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します)

(税込)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	窓口購入	インターネット購入
	1.10%	0.77%
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	信託報酬：年1.353%	
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の12ページから13ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ⑥ ネット取引の方が低コストなので、そちらで取引する方が良いですか。
- ⑦ 手数料がかかる商品は購入せず、iDeCoだけにすることが良いですか。

4. 換金・解約の条件 (本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

この商品の償還期限はありません。但し、期間更新や繰上償還の場合があります。

この商品に解約手数料は生じませんが、解約した際に発生する有価証券売買コスト等、残存受益者への影響を低減する目的で基準価格に0.3%の率を乗じて得た額の信託財産留保額を換金する口数に応じてご負担いただきます。信託財産留保額は、信託財産内に留保されます。

証券取引所・外国為替取引の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の12ページから13ページに記載しています。

- (質問) ⑧ 土日以外に、解約の手続きがとれない日はありますか。

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

信託報酬のうち、組成会社等から0.44%の販売会社報酬を頂きます。これは購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価です。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

(URL) <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- (質問) ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページに記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>

※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】
(URL②) <https://fnhp.qhit.net/fn/fundDetail.html?corp=nmza&code=01313103>

※ リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

のむラップ・ファンド（普通型）・証券投資信託

	<質問>	<回答例>
①	積極・普通・安定の3タイプを用意しているのは、どのようなメリットがありますか。	本商品も、中長期的なスタンスで財産形成を目指すお客様に資するように、先々に市場変動に対応して、選択肢の切り替えを容易にする目的があります。
②	積極・普通・安定の3タイプを、事後、変更することはできますか。	変更は、随時おこなえますが、いったん換金して、当該資金で購入し直すことになります。そのため、購入時手数料を低率に抑えております。
③	組入資産に株式も含まれていますが大丈夫ですか。	中長期的には、株式も債券も、高い運用成果を上げる時期・上げない時期があります。このため資産を分散させて、ひとつの資産の成果に依存しないことが目的です。
④	普通型は、リスク面でどのような特徴がありますか。	組み入れ資産の中で、積極型と比べて、株式・リートの比率を抑えています。その分だけ、価格変動幅がプラスにもマイナスにも、ある程度小さくなります。
⑤	確定拠出年金（iDeCo）でも同じような商品をやっていますが、この商品を選択するメリットはどのような点にありますか。	確定拠出年金は年間掛金が小さいこと、また60歳まで換金できないことを考えますと、上乘せとして取り組んでいただくことにもメリットはあると思います。
⑥	ネット取引の方が低コストなので、そちらで取引する方が良いですか。	インターネット取引は、手数料率の低さ、時間的な制約がないことがメリットです。一方で、職員との対話を通しての細かい説明や相談をご希望の場合は、窓口購入もお客様にとって有益であるとお勧めいたします。
⑦	手数料がかかる商品は購入せず、iDeCoだけにする方が良いですか。	お客様の財産形成の観点でiDeCoだけでは不十分ということ、また換金が自由であることなどからは、手数料がかかってもメリットはあるかもしれません。
⑧	土日以外に、解約の手続きがとれない日はありますか。	特に、海外株式・海外債券などで運用するファンドについては、その投資対象国の祝日もファンド休業日とされます。これは数ヶ月以上前から明らかにされており、お客様にもお伝えできます。
⑨	あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。	お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。